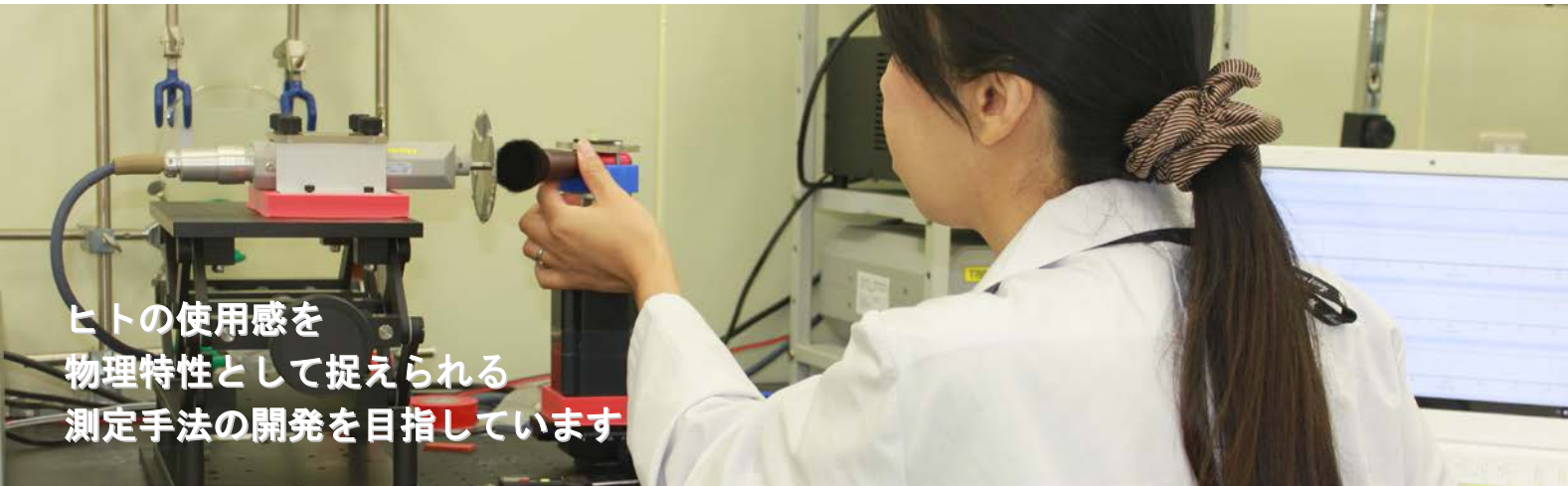




化粧用具等の使い心地の科学～ヒトの感覚を計測する～

小田 明佳（京都市産業技術研究所）

技術分野：繊維材料評価



ヒトの使用感を
物理特性として捉えられる
測定手法の開発を目指しています



企業のみなさまにつなげたい**技術**（シーズ）

モノに溢れる現代。安心安全はもとより、ヒトの使用感に訴えるものづくりが求められています。自社で開発された製品のよさを主観評価だけでなく、客観評価できることで製品の訴求力はぐんと向上します。

そこで、特に使用感のよさが求められる化粧用具を中心に、各アイテムの物理特性測定手法を開発し、ヒトの感覚との相関を研究しています。

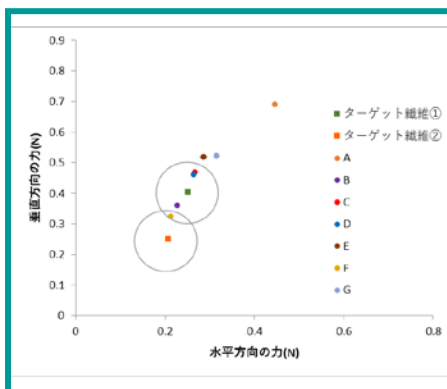


活用が想定される**分野例**

- ・化粧品・化粧用具製造業
 - ・繊維製品製造業
 - ・使用感を主観評価だけでなく、客観評価したい企業様
- 等

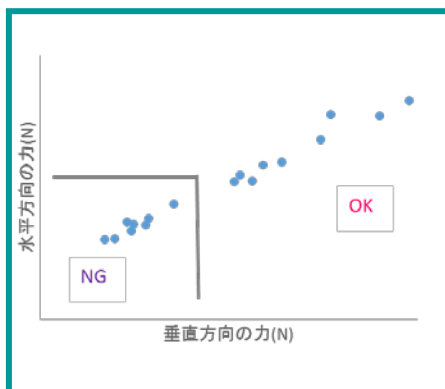


技術の**活用例**



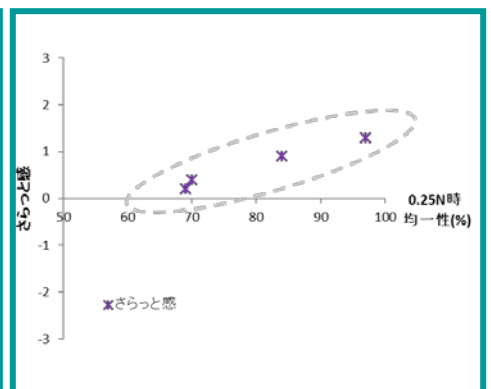
化粧用ブラシの新規開発

ターゲット繊維①②に対する開発ブラシA～Gの特徴



化粧用具の品質管理

定量的な品質管理の実現



パウダーパフの使用感評価

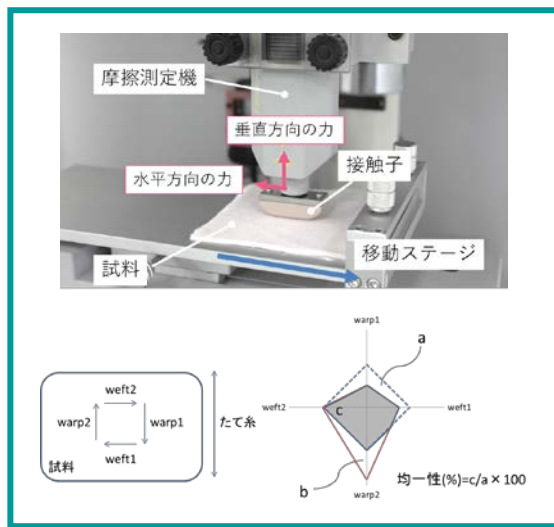
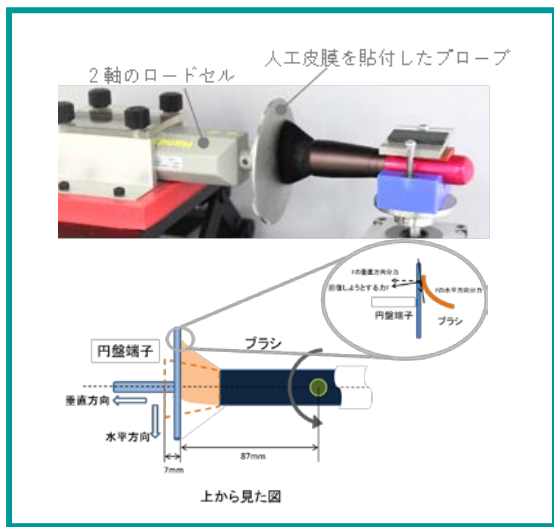
表面の均一性とさらっと感に相関あり



シーズのご紹介

化粧品を肌に移す道具である化粧用具。化粧用具は、材料や形状を工夫し、新たな商品が開発されています。しかしながら、化粧用具の開発指標や使用感評価は、官能検査など主観評価が主であり、客観的に評価できる方法が確立されていません。また、化粧用ブラシやパウダーパフは、繊維の集合体です。そのため、繊維素材としてのヤング率や曲げ剛性だけでなく、集合体としての特性を計測することが重要となります。

そこで、化粧用具を使用した際に、肌に与える力学特性を計測できる方法を開発しました。さらに、その力学特性がヒトの感覚にどのように寄与するのかを得るために官能検査を実施しました。その結果、化粧用ブラシにおいては、ブラシのソフトさと関係のある力学特性を見出し、パウダーパフにおいては、さらっと感と表面の力学特性の均一性に関係があることを見出しました。



【公開情報：特許情報、参考文献、ホームページなど】

論文：化粧用ブラシの物理特性測定法の開発；繊維製品消費科学，Vol. 56, No. 6, 555-561, 2015

文献：ユーザーの感性と製品・サービスをむすぶ：真意を聞き出すアンケート設計と開発・評価事例；サイエンス&テクノロジー，2018

月刊機能材料 2015年11月号；シーエムシー出版，2015



企業のみなさまへ



繊維製品の使用感を表現する「風合い」という言葉があるほど、繊維製品は使用感が重要な分野です。それら繊維製品を扱っている弊所のシーズ等が、少しでも皆様のものづくりのお役に立つことができれば幸いです。

【支援メニュー】

技術移転

共同研究

受託研究

技術相談・指導

化粧用具等の測定については、ご相談から受託研究・共同研究まで、幅広いメニューで対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

【周辺研究】

- ・風合い計測として代表的な KES シリーズの活用
- ・触感センシング技術開発

※本シーズについてのお問い合わせは下記までご連絡下さい。
(お問い合わせ先)

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 製織システムチーム

TEL 075-326-6100 Email odaci070@tc-kyoto.or.jp